湿地の自然財産

タデ原湿原はくじゅうの代表的な淡水環境の一つです。周囲の山々から湧き出る新鮮な湧水によって作られたタデ原は、多数多様な植物や動物が生息している低地です。タデ原湿原の立地と独特な地質構成は、湿地独特の草、希少で美しい植物、水生昆虫、野鳥などの生態系の繁栄を支えています。

海抜約1000mの高さと湿原の涼しい気候条件は、様々な野生の花の成長を促進させます。春から秋にかけては、ヒゴタイ、ハナショウブ、紫色と黄色のミソハギ、ヒメユリ、マルバタケブキなど、100種類以上の花が咲き誇り、多くの蝶やカバキコマチグモなどのような昆虫を引き寄せています。

昆虫はまた、湿地にホオアカなどのような鳥を引き寄せます。ここに生息する多くの生物はタデ原湿原の独特な環境でしか見られないため、この地域は2005年に国際的な重要性のあるラムサール条約湿地に認定されました。